



Tableau 製品と EU 一般データ 保護規則

目次

はじめに	3
免責事項	3
GDPR の概要	3
定義	4
役割と責任	4
GDPR と Tableau 製品	5
Tableau での個人データの場所の把握	5
データソース内の個人データ	5
ユーザーアカウント内の個人データ	6
データ管理者の責任の遂行	6
個人データの特定	6
個人データのセキュリティ保護	6
個人データへのアクセスおよび使用のガバナンス	6
データ主体の権利の支援	7
まとめ	8
参考文献	9

はじめに

このホワイトペーパーは、EU 一般データ保護規則 (GDPR) に従う必要のある Tableau ユーザーが、Tableau 製品を使用して GDPR に定義されている個人データを処理する場合に認識しておかなければならない考慮事項について説明しています。対象となるのは、Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public ユーザーアカウントの一部として Tableau が処理する個人データです。製品登録の一環として Tableau が処理する個人データについては、ライセンスまたはサブスクリプション契約、および [Tableau Software のプライバシーポリシー](#) で扱います。

免責事項

ほとんどの規則や法律では、GDPR の実際の適用方法の解釈について差異のある場合があります、特に実施の初期においては顕著です。GDPR が Tableau のお客様に与える影響についての弊社の見解は、法律およびこの規則の実際の適用方法に関する弊社の現在の理解に基づいています。標準的なプラクティスや予測内容が明確になるにつれて、この見解は徐々に変化する可能性があります。GDPR の下ではデータ主体に多くの権利がありますが、そのすべてが Tableau 製品に関係するわけではないことにご注意ください。

Tableau は情報提供のみを目的としてこのホワイトペーパーを提供しています。法的助言や、この複雑な主題の包括的な教育資料を目的として提供するものではありません。GDPR がお客様独自の状況にどのように適用されるかについて、およびコンプライアンスを維持する最善の方法の判断については、資格のある適切な法律専門家と連携されることを推奨します。

GDPR の概要

GDPR (General Data Protection Regulation: 一般データ保護規則) は、EU が域内のすべての個人データ保護に関して強化および統一化したデータ保護規則です。GDPR の対象になるのは EU 域内の個人と取引を行っている全組織であり、その組織が EU 域内に拠点を持っているかどうかは問われません。また、EU 域外への個人データの輸出についても扱っています。

この規則では、個人（「データ主体」）の権利について、およびデータ主体の個人データを収集する組織（「データ管理者」）、およびデータ管理者に代わってデータを処理する組織（「データ処理者」）の両方の責任について、多数規定しています。データ主体の個人データには、名前、電話番号、メールアドレス、誕生日、IP アドレス（個人を追跡できる場合）などが含まれます。機密個人データには、個人の健康状態、民族性、または宗教が含まれることがあります。GDPR の主要要素には以下が含まれます。

- ・個人のプライバシー権の強化
- ・個人データの保護に関する責任の増大
- ・個人データの侵害に関する報告の義務化
- ・EU 域外への個人データの送信に関する規則
- ・個人データの削除を要求する権利
- ・準拠違反に対する罰則

定義

この文書において、GDPR の下での主な概念および役割の定義は次の通りです。

管理者

「単体または他との共同に関わらず、個人データを処理する目的および手段を判断する自然人または法人、公的機関、代理機関、あるいはその他の団体。それらの処理の目的および手段は、EU または加盟国の法律によって決定され、管理者または管理者の指定に関する特定の基準は、EU または加盟国の法律によって提供されます。」

個人データ

「特定された、または特定可能な自然人（「データ主体」）に関係するあらゆる情報。特定可能な自然人とは、特に、その自然人の名前や ID 番号、位置データ、オンライン ID、または身体的、生理的、遺伝的、精神的、経済的、文化的または社会的なアイデンティティを参照することによって、直接または間接的に特定可能な人物のことを言います。」

処理者

「管理者に代わって個人データを処理する自然人または法人、公的機関、代理機関、あるいはその他の団体。」

処理

「個人データまたは一連の個人データに対して実行される操作または一連の操作。これらの操作には、自動的かどうかに関わらず、収集、記録、体系化、構造化、保存、適応または改変、取得、参照、使用、送信による開示、普及、あるいはその他の方法で利用可能にすること、調整または組み合わせ、制限、消去、または破壊が含まれます。」

受領者

「サードパーティーがどうかに関わらず、個人データの開示先となる自然人または法人、公的機関、代理機関、あるいはその他の団体。ただし、EU または加盟国の法律に従った特定の問い合わせの枠組みの中で個人データを受領する可能性のある公的機関は、受領者として見なされません。そのような公的機関による個人データの処理は、その処理の目的に従い、該当するデータ保護規則を遵守する必要があります。」

役割と責任

Tableau 製品の使用に応じて、GDPR への準拠の責任は Tableau とユーザーの間で共有される場合があります。下記の「Tableau での個人データ」セクションでは、使用する特定の Tableau 製品に応じて、さまざまなタイプの個人情報に関する責任について説明しています。

GDPR と Tableau 製品

Tableau プラットフォームには、組織が Tableau を使用して個人データを処理する際に GDPR への順守を達成できるよう支援する、多くの機能が搭載されています。貴社での Tableau の使用に対する GDPR の影響を評価するには、まず、個人データがどこにあるかについて把握する必要があります。

Tableau での個人データの場所の把握

Tableau では、個人データは複数の形式で存在し、Tableau プラットフォーム内の複数の場所にあります。Tableau 製品がアクセスできる個人データには、次の 2 つのカテゴリがあります。

1. データソース内の個人データ（すなわち自社保有のデータ）
2. Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public ユーザーアカウントに含まれる個人データ

データソース内の個人データ

Tableau Desktop、Tableau Prep、Tableau Server、Tableau Online、または Tableau Public と接続するデータソース（例：ファイル、データベース）には、GDPR の対象となる個人データが含まれている可能性があります。ユーザーには、データソース内の個人データを特定する責任があります。

データソースからデータを抽出する場合は、顧客データがクライアントコンピューター（Tableau Desktop の場合）あるいは Tableau Server、Tableau Online、または Tableau Public の Tableau データ抽出（.hyper または .tde ファイル）内にも存在することになります。

Tableau Prep は、フローの一部として、データ抽出（.hyper または .tde）またはコンマ区切り値（.csv）ファイルを生成できます。フロー内で使用されるデータソースに個人データが含まれている場合、これらのファイルにも個人データが含まれる可能性があります。

また、Tableau パッケージドワークブック（.twbx）、Tableau パッケージデータソース（.tdsx）、および Tableau Prep パッケージフロー（.tfx）ファイルに、個人情報が含まれている可能性のある、ファイルベースのデータソースおよび抽出ファイルのコピーが含まれる場合があります。

さらに、Tableau Desktop、Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public は、パフォーマンスを加速するためにデータキャッシングテクニックを採用しています。これらのキャッシュは一時的に、データソースクエリからのデータをメモリまたはディスクに格納します。Tableau Desktop は、キャッシュされた結果をワークブック（.twb）およびパッケージドワークブック（.twbx）ファイル、そしてクエリキャッシュに格納します。Tableau Desktop ユーザーはこのクエリキャッシュをクリアすることができます。Tableau Server 管理者はこのキャッシング動作に対するある程度の制御が可能であり、キャッシュをクリアすることができます。

Tableau Desktop、Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public では、ユーザーが、データソース内にある個人データの管理者となります。Tableau Online および Tableau Public では、Tableau がこの個人データの処理者となります。

ユーザーアカウント内の個人データ

Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public ユーザーアカウントにも、GDPR の対象となる個人データが含まれます。そのようなデータには、名前、メールアドレス、位置、IP アドレスが含まれ、内部の PostgreSQL データベースに格納されます。また、これらの製品は、PostgreSQL データベースおよびログファイルにユーザーのアクティビティ履歴を記録します。Tableau Server 管理者はこのログ動作に対するある程度の制御が可能であり、履歴ログをクリアすることができます。

データ管理者の責任の遂行

個人データの管理者には、GDPR の下で特定の責任があります。Tableau 製品は、これらの責任を果たせるようにするための機能を備えています。GDPR に準拠するためには、Tableau で次のアクションを実行することが必要な場合があります。

- ・個人データの特定
- ・個人データのセキュリティ保護
- ・個人データへのアクセスおよび使用のガバナンス
- ・データ主体の権利の支援

個人データの特定

GDPR 準拠計画には、すべての個人データとその場所を完全に特定することを含める必要があります。Tableau ワークブックまたはデータソースに個人データが含まれているかどうかを判断するために、[データ] サイドバーの検索機能を使用して、個人データを含んでいるフィールドの使用を確認することができます。

分析するワークブックが大量にある場合、どのデータソースやフィールドが複数のワークブックで使用されているかを判断するには、[Tableau コミュニティで利用できる TWB Auditor](#) が便利なツールとなります。

個人データのセキュリティ保護

管理者と処理者には、個人データの保護とセキュリティを維持する責任があります。そのため、個人データにアクセスできる Tableau Server のインストールは、Tableau Server の [セキュリティ強化チェックリスト](#)に記載されたベストプラクティスに従って実行する必要があります。Tableau では、Tableau Online および Tableau Public で同様のセキュリティベストプラクティスに従っています。

Tableau Software のセキュリティプラクティスの詳細やその他のリソースについては、tableau.com/ja-jp の [セキュリティページ](#)を参照してください。

個人データへのアクセスおよび使用のガバナンス

Tableau ユーザーは、個人情報を見る必要があるユーザーのみに、個人情報へのアクセス許可を限定する必要があります。[Tableau Server](#) と [Tableau Online](#) では高度なパーミッション設定が可能であるため、ユーザーがどの場所やアセット（サイト、ワークブック、ワークシート、データソースなど）にアクセスできるかをコントロールすることができます。さらに、Tableau Desktop は [データ行レベルでのアクセスを制限するためのユーザーベースのフィルタリング機能](#)を提供します。

データ主体の権利の支援

GDPR の下では、データ主体には自身の個人データに関する特定のアクションを実行するよう管理者に依頼する権利があります。そのような権利に関して Tableau 製品が支援できるのは、以下の権利です。

- ・アクセス権
- ・訂正権
- ・削除権
- ・データポータビリティ権

Tableau が Tableau Online および Tableau Public ユーザーアカウントの一部として処理する、あらゆる個人データに関するこれらの権利の実行方法については、[Tableau Software のプライバシーポリシー](#)を参照してください。

アクセス権

GDPR の下では、データ主体には、管理者が処理する個人データに関する情報を、データそのもののコピーを含み、要求する権利があります。Tableau を使用してデータソース内の個人データを分析する場合、Tableau Desktop、Tableau Server、Tableau Online、または Tableau Public のデータエクスポート機能を使用して、それらのデータを CSV ファイルにダウンロードできます。

訂正権

データ主体には、自身に関する不正確な個人データの訂正を依頼する権利があります。ユーザーは、データが抽出されているデータソースの個人データを更新する場合は、抽出からデータを削除するために、抽出全体の更新（増分更新ではなく）を実行する必要があります。Tableau Server および Tableau Online で定期的な抽出更新をスケジュールすることで、データソースに変更が加えられた後の合理的な時間枠で抽出が自動的に更新されるよう設定できます。

削除権

GDPR の下では、データ主体には特定の状況において、自身の個人データを削除させる権利があります。データ主体は、データ管理者またはデータ処理者に対し、組織のシステムから自身の個人データを削除するよう文書で依頼することができます。そのような依頼を受け取った場合はデータを削除する義務があります。Tableau は特に、データの削除に使用できるツールやプロセスを理解できるよう、お客様に合理的なサポートを提供します。

データソース内の個人データ

データが抽出されているデータソースの個人データを削除する場合は、抽出からデータを削除するために、抽出全体の更新（増分更新ではなく）を実行する必要があります。Tableau Server および Tableau Online で定期的な抽出更新をスケジュールすることで、データソースに変更が加えられた後の合理的な時間枠で抽出が自動的に更新されるよう設定できます。

Tableau Prep のフローで、個人データを含むファイル (.hyper、.tde、または .csv) を生成する場合は、元のデータソースからデータを削除した後にフローを再実行する必要があります。

前述したとおり、Tableau Desktop、Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public は、パフォーマンスを高速化するためにデータソースからデータをキャッシュします。ユーザーは Tableau Desktop の[クエリキャッシュをクリア](#)することが可能です。

既定では、Tableau Server は最長約 1 週間の限られた期間のみ、データをキャッシュします。より詳細に制御したい場合は、**ワークブック**および**データ接続**のキャッシング動作を設定でき、手動で**キャッシュをクリア**することもできます。

Tableau Online および Tableau Public も、最長約 1 週間、データをキャッシュします。

ユーザーアカウント内の個人データ

Tableau Server、Tableau Online、または Tableau Public からユーザーアカウントを削除すると、PostgreSQL データベースから当該ユーザーのプライマリデータが削除されます。

Tableau Server は、一定期間の経過後に履歴ログを自動的に削除します。Tableau Server 管理者は、**ロギング動作を設定**することで、履歴ログを完全にオフにしたり、別の時間枠にログが自動的に削除されるように設定できます。また、**Tableau Server 管理者は履歴ログをクリアすることもできます**。

Tableau Public および Tableau Online の場合、このデータは一定期間の経過後に製品から削除されます。

前述のとおり、Tableau は制限に従って、および Tableau の**プライバシーポリシー**に記載された目的のために、ユーザーに関するデータを収集および格納します。

データポータビリティ権

アクセス権と同様、データ主体には「一般的に使用され、コンピューターが解読できる、構造化された形式」の自身の個人データのコピーを要求する権利があります。Tableau がエクスポートする CSV データファイルを使用して、これらの要求を満たすことが可能です。

まとめ

GDPR により、管理者および処理者には新たな責任が課せられるとともに、データ主体には新しい権利が確立されます。その目的は、EU 域内における個人のデータプライバシーを強化することです。Tableau 製品は、Tableau を使用してデータソース内の個人データを処理する際に、GDPR への準拠を維持するため、また Tableau Server、Tableau Online、および Tableau Public ユーザーアカウントに含まれる個人データを維持するために役立つ機能を提供します。

Tableau について

データの大きさ、チャネル、保存されているデータベースに関わらず、Tableau はお客様がデータを見て理解できるように支援します。PC から iPad まで、シームレスに素早くデータの接続、ブレンド、視覚化ができます。自動データ更新機能付きのマーケティングダッシュボードの作成およびパブリッシュ、同僚、チーム、エグゼクティブリーダー、パートナー、お客様とのリアルタイムのインサイトの共有が、プログラミングのスキルなしで行えます。今すぐ[無料でお試しください!](#)

参考文献

[Tableau Software プライバシーポリシー](#)

[Tableau Software のセキュリティ](#)

[データ保護に関する欧州委員会サイト \(英語\)](#)

[GDPR 全文 \(英語\)](#)